

■主要指標の動き■ 2023年11月17日時点(1週間前=11月10日、3か月前=8月17日、6か月前=5月17日、1年前=2022年11月17日) なお、休場の場合は直前の営業日のデータを使用

世界	指標	先週末	騰落率(%)				
			週間	3か月	6か月	1年	22年末比
	世界株価 注1	365.50	3.0	3.0	6.1	13.9	15.1
	先進国株価 注2	9,298.41	3.0	3.3	6.6	14.9	16.4
	先進国(除く日本)株価 注3	10,693.07	2.9	3.1	6.7	14.7	16.5
	新興国株価 注4	507.78	3.0	0.6	1.7	6.4	4.5
日本	日経平均株価	33,585.20	3.1	6.2	11.6	20.2	28.7
	JPX日経インデックス400	21,581.82	2.6	6.1	12.1	21.6	26.7
	TOPIX(東証株価指数)	2,391.05	2.3	6.1	12.1	21.6	26.4
	東証プライム市場指数	1,230.61	2.3	6.1	12.1	21.6	26.4
	東証スタンダード市場指数	1,135.86	1.0	3.1	5.9	12.3	14.1
	東証グロース市場指数	883.44	1.6	▲4.1	▲7.0	▲12.0	▲4.8
米国	NYダウ工業株30種	34,947.28	1.9	1.4	4.6	4.2	5.4
	S&P 500種	4,514.02	2.2	3.3	8.5	14.4	17.6
	ナスダック総合	14,125.48	2.4	6.1	13.0	26.7	35.0
	ナスダック100	15,837.99	2.0	7.6	16.5	35.6	44.8
	フィラデルフィア半導体	3,748.65	4.4	8.8	20.0	37.9	48.0
欧州	欧州 ストックス・ヨーロッパ600	455.82	2.8	1.0	▲1.8	6.4	7.3
	英国 FTSE100	7,504.25	2.0	2.7	▲2.8	2.1	0.7
	ユーロ圏 ユーロ・ストックス	454.53	3.4	1.7	▲0.5	9.0	10.9
	ドイツ DAX	15,919.16	4.5	1.5	▲0.2	11.6	14.3
アジア・オセアニア	中国 CSI300	3,568.07	▲0.5	▲6.9	▲9.9	▲6.6	▲7.8
	中国 上海A株	3,202.34	0.5	▲3.4	▲7.0	▲1.9	▲1.1
	中国 深圳A株	2,012.79	1.1	▲3.0	▲5.0	▲5.7	▲2.6
	中国 創業板	1,986.53	▲0.9	▲7.5	▲13.4	▲16.7	▲15.4
	香港 ハンセン	17,454.19	1.5	▲4.8	▲10.8	▲3.3	▲11.8
	台湾 加権	17,208.95	3.2	4.2	8.1	18.4	21.7
	韓国 KOSPI	2,469.85	2.5	▲2.0	▲1.0	1.1	10.4
	シンガポール ST	3,124.67	0.6	▲2.3	▲1.5	▲4.9	▲3.9
	タイ SET	1,415.78	1.9	▲7.4	▲7.0	▲12.3	▲15.2
	インドネシア ジャカルタ総合	6,977.67	2.5	1.1	4.7	▲1.0	1.9
フィリピン 総合	6,211.89	0.8	▲2.4	▲6.4	▲3.0	▲5.4	
ベトナム VN	1,101.19	▲0.0	▲10.7	3.8	13.6	9.3	
インド SENSEX	65,794.73	1.4	1.0	6.9	6.5	8.1	
豪州 S&P/ASX200	7,049.39	1.0	▲1.4	▲2.1	▲1.2	0.2	

中 南 米	指標	先週末	騰落率(%)				
			週間	3か月	6か月	1年	22年末比
	ブラジル ボベスバ	124,773.21	3.5	8.5	14.0	13.7	13.7
	メキシコ IPC	52,685.10	2.8	▲1.0	▲4.3	2.6	8.7
東 欧	ロシア RTS(米ドル建て)	1,122.10	1.3	9.1	7.9	▲2.6	15.6
	トルコイスタンブール100	7,853.36	1.1	1.1	68.5	74.2	42.6
南 ア フリ カ	南アフリカ FTSE/JSEアフリカ全株	73,920.75	3.5	▲0.6	▲5.7	2.4	1.2
	エジプト EGX30	24,383.27	0.3	35.7	44.8	94.8	67.0
債 券	日本国債 注5	338.30	1.0	▲0.9	▲4.5	▲3.1	▲0.5
	先進国(除く日本)国債 注6	946.75	2.0	0.9	▲1.4	1.6	1.8
	新興国債券 注7	701.18	1.7	0.4	1.1	4.7	2.2
利 回 り *	日本国債2年物	0.044	-0.065	0.018	0.100	0.086	0.005
	日本国債10年物	0.756	-0.094	0.110	0.386	0.510	0.334
	日本国債20年物	1.476	-0.079	0.104	0.500	0.438	0.169
	日本国債30年物	1.685	-0.042	0.032	0.470	0.284	0.072
	米国債2年物	4.887	-0.176	-0.043	0.730	0.433	0.458
	米国債10年物	4.436	-0.217	0.158	0.869	0.668	0.559
	ドイツ国債2年物	2.964	-0.102	-0.143	0.263	0.840	0.200
	ドイツ国債10年物	2.588	-0.129	-0.121	0.252	0.568	0.017
	イタリア国債10年物	4.358	-0.218	-0.056	0.175	0.421	-0.357
	スペイン国債10年物	3.597	-0.176	-0.163	0.203	0.563	-0.066
商 品 な ど	東証REIT(配当込み)	4,420.73	1.3	▲0.2	▲0.5	▲2.0	0.4
	グローバル(米ドルベース)	600.05	4.2	▲0.9	▲1.5	▲0.7	▲0.7
	REIT指数注8(ヘッジなし円ベース)	690.21	2.9	1.5	7.2	5.6	12.5
	香港REIT 注9	557.74	3.4	▲0.1	▲18.8	▲20.5	▲25.6
	オーストラリアREIT 注9	948.27	3.8	1.1	▲0.5	5.0	5.5
	北海ブレント原油先物	80.61	▲1.0	▲4.2	4.7	▲10.2	▲6.2
	WTI原油先物	75.89	▲1.7	▲5.6	4.2	▲7.0	▲5.4
	ニューヨーク金先物	1,984.70	2.4	3.6	▲0.9	11.6	8.7
	CRB指数	273.63	0.1	▲0.3	4.3	▲1.4	▲1.5
	シンガポール鉄鉱石先物	128.51	1.3	21.6	18.8	32.6	9.7
S&P MLP-タリタン指数	7,384.87	2.6	9.0	16.5	20.7	22.9	
S&P BDC-タリタン指数	353.89	0.9	4.7	15.7	17.2	21.8	
ビットコイン	36,418.61	▲2.3	31.8	33.2	118.3	120.2	

\*「利回り」変化のデータは、騰落率(%)ではなく、騰落幅  
 注8 グローバルREIT指数 : S&PグローバルREIT指数(トータルリターン)  
 注9 香港/オーストラリアREIT指数 : S&Pの各地域/国REIT指数(トータルリターン、現地通貨ベース)

北 米	為替(米ドル・インデックスを除き、対円)	先週末	騰落率(%)				
			週間	3か月	6か月	1年	22年末比
	米ドル・インデックス	103.92	▲1.8	0.3	1.0	▲2.6	0.4
	米ドル	149.63	▲1.2	2.6	8.7	6.7	14.1
	カナダ・ドル	109.04	▲0.6	1.3	6.6	3.7	12.7
欧 州	ユーロ	163.27	0.8	3.0	9.4	12.4	16.3
	英ポンド	186.46	0.7	0.3	8.4	12.1	17.7
	スイス・フラン	168.97	0.6	1.8	10.3	14.7	19.2
	スウェーデン・クローナ	14.22	2.2	6.6	7.9	7.6	13.1
	アイスランド・クローネ	1.068	0.2	▲3.3	8.4	9.4	15.2
	ノルウェー・クローネ	13.84	1.5	0.5	8.3	▲0.1	3.4
	デンマーク・クローネ	21.89	0.8	2.9	9.3	12.1	16.0
	中国人民幣元	20.74	▲0.3	3.4	5.5	5.8	8.2
	香港ドル	19.19	▲1.1	3.0	9.2	7.1	14.2
	台湾ドル	4.71	0.6	3.3	5.9	4.6	9.8
ア ジ ア ・ オ セ ア ニ ア	韓国ウォン(100ウォン当たり)	11.54	0.3	6.1	12.1	10.2	10.8
	シンガポール・ドル	111.35	▲0.0	3.7	8.5	9.2	13.8
	マレーシア・リンギ	31.97	▲0.6	1.8	5.6	4.2	6.6
	タイ・バーツ	4.26	1.4	3.7	6.0	9.0	12.3
	インドネシア・ルピア(100ルピア当たり)	0.966	0.0	1.2	4.3	7.9	14.4
	フィリピン・ペソ	2.70	▲0.1	4.9	10.9	11.3	13.7
	ベトナム・ドン(100ドン当たり)	0.617	▲0.9	1.0	5.0	9.0	10.3
	インド・ルピー	1.80	▲1.2	2.4	7.7	4.5	12.9
	オーストラリア・ドル	97.48	1.1	4.4	6.3	3.9	9.1
	ニュージーランド・ドル	89.55	0.3	3.6	4.1	4.2	7.6
中 南 米	ブラジル・レアル	30.50	▲1.3	4.1	9.3	18.0	22.9
	メキシコ・ペソ	8.69	1.1	1.9	11.0	20.3	29.2
	コロンビア・ペソ(100ペソ当たり)	3.66	▲2.6	2.8	19.3	30.3	35.2
	チリ・ペソ(100ペソ当たり)	16.84	1.5	0.2	▲3.0	10.6	9.2
	ペルー・ヌエボ・ソール	39.76	▲0.1	1.4	6.7	8.6	15.4
東 欧	ロシア・ルーブル	1.67	1.9	8.0	▲2.6	▲28.0	▲5.4
	ポーランド・ズロチ	37.20	1.7	4.8	12.7	20.5	24.2
	ハンガリー・フォリント(100フォリント当たり)	43.07	0.3	4.5	6.6	21.7	22.7
	ルーマニア・レイ	32.84	0.9	2.4	9.2	11.4	15.7
そ の 他	トルコ・リラ	5.21	▲1.7	▲3.0	▲25.1	▲30.9	▲25.5
	南アフリカ・ランド	8.15	0.8	6.6	13.9	1.0	5.8
	エジプト・ポンド	4.84	▲1.2	2.6	8.7	▲15.5	▲8.9

(騰落率がプラスの場合は各通貨高、マイナス▲の場合は円高)

※右表の為替レートは原則としてニューヨークの17時時点のものであり、弊社投資信託の基準価額の算定に用いられるものと大きく異なることがあります。また、ビットコインのデータもニューヨーク17時時点です。

指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

注1 世界株価指数 : MSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(米ドルベース、ネットトータルリターン)  
 注2 先進国株価指数 : MSCIワールド・インデックス(米ドルベース、ネットトータルリターン)  
 注3 先進国(除く日本)株価指数 : MSCI-KOKUSAIインデックス(米ドルベース、ネットトータルリターン)  
 注4 新興国株価指数 : MSCIエマージング・マーケット・インデックス(米ドルベース、ネットトータルリターン)  
 注5 日本国債指数 : FTSE日本国債インデックス(円ベース)  
 注6 先進国(除く日本)国債指数 : FTSE世界国債インデックス(除く日本、米ドルベース)  
 注7 新興国債券指数 : JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(ヘッジなし・米ドルベース)

当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

先週の主な出来事 (株式市場での反応を○、△、×の順で評価)

日付	市場の反応	国・地域	指標など(コメント)
11月13日(月)	△	米国	格付会社が米国の格付見通しをネガティブに引き下げ 格付会社ムーディーズは10日、最高位のAaaとしている米国の発行体格付の見通しを安定的からネガティブへと引き下げた。13日には、日本の国債利回りが上昇した。国債利回りは、欧米でも上昇する場面があったが、翌日に米消費者物価指数の発表を控え、国債に持ち高調整の買いが入ったほか、ニューヨーク連銀の10月の消費者調査で1年先の期待インフレ率がやや低下したこともあり、引けにかけては低下した。株式相場は、欧州では反発したが、米国では主要株価指数が小動き、マチマチとなった。外国為替市場では円が売られ、円相場は一時1ドル=151円92銭と、2022年10月以来の円安・ドル高水準となった。また、世界の原油需要に対する過度な懸念が後退したことなどから、原油先物が買われた。
			消費者物価指数の前年比伸び率、全体、コアとも予想以上に鈍化 10月の消費者物価指数は予想を下回り、全体で前年同月比+3.2%に鈍化、コアでは+4.0%と、2021年9月以来の低い伸びだった。米利上げ終了との見方が強まったほか、従来より早期の利下げを期待する向きもあり、欧米国債利回りが低下し、一時、米2年債で4.80%台となった。また、欧州では不動産関連銘柄、米国ではハイテク株や景気敏感株をけん引役に株式相場が上昇した。外国為替市場ではドルが売られ、円相場は150円台に反発した。ただし、円は対ユーロで1ユーロ=163円台へと続落した。また、金先物が買われた。
14日(火)	○	米国	中国の鉱工業生産、小売売上高は予想を上回る 中国では、1兆元超の低金利資金を都市部の再開発や住宅計画に投入する計画を当局が検討していると前日に報じられた。また、15日に発表された10月の鉱工業生産は前年同月比+4.6%、小売売上高も+7.6%と、ともに予想を上回った。一方、1-10月累計の都市部固定資産投資は前年同期比+2.9%、不動産投資は▲9.3%と、いずれも予想および前月までの伸びを下回った。中国本土・香港株式は、追加の景気支援策への期待や一部の経済指標が予想を上回ったことなどを背景に上昇した。日本では、7-9月期のGDP速報値が前期比年率▲2.1%と、3四半期ぶりのマイナス成長となり、落ち込みは予想を大きく上回った。ただし、前日の米国での長期金利低下やハイテク株高などを受け、株式相場が続伸したほか、国債利回りは低下した。アジアの他の市場でも総じて株高となった。
15日(水)	○	アジア	英国の消費者物価、米国の卸売物価が予想を下回る 英国では、10月の消費者物価指数が前年同月比+4.6%と、予想以上に鈍化し、2021年10月以来の低い伸びとなった。米国では、前夜、下院でつなぎ予算案が可決され、上院の与野党トップが同案への支持を表明した。15日に発表された10月の小売売上高は、全体で前月比▲0.1%と、7ヵ月ぶりにマイナスとなったが、予想ほど落ち込まなかったほか、前月実績が上方修正された。コアでは+0.2%だった。また、10月の卸売物価指数が前月比で予想外のマイナスとなったほか、前年比でも予想を下回る伸びにとどまった。11月のニューヨーク連銀製造業景気指数は前月比+13.7ポイントの9.1と、予想を大きく上回った。国債利回りは、米国では、小売売上高が予想を上回ったことや、国債への持ち高調整の売りなどもあり、上昇した。欧州では、低下する場面もあったが、米国債の利回りが上昇すると、追従して上昇に転じた。欧米株式は、インフレ鈍化を示す指標の発表が相次いだことが好感され、続伸した。外国為替市場ではドルが買われ、円相場は151円台に下落したほか、対ユーロでも164円台に下落した。また、米週間統計で原油在庫が予想以上に増加したことなどから、原油先物が売られた。
		欧米	米大統領、「中国国家主席は独裁者だとの見方は変わっていない」 前日に米中首脳が米国で会談し、両首脳間のホットライン設置や軍同士の(右上に続く)

16日(木)	△	米国	新規失業保険申請件数、失業保険継続受給者数が予想以上に増加 つなぎ予算案が前夜、上院でも可決され、大統領の署名をもって成立する方向となった。また、16日に発表された、11日までの週の新規失業保険申請件数は23.1万件、4日までの週の失業保険継続受給者数は186.5万人と、いずれも予想を上回り、それぞれ、今年8月、2021年11月以来の高い水準となり、労働市場が軟化に向かっていることを示唆した。10月の鉱工業生産は前月比▲0.6%と、4ヵ月ぶりの低下、11月のフィラデルフィア連銀景気指数は前月比+3.1ポイントの▲5.9だった。欧米の国債利回りが低下したほか、原油先物が売られ、WTIでは1バレル=72ドル台と、7月以来の安値で引けた。欧州株式相場はマチマチだったが、英高級ブランド企業が今年の売上目標未達の可能性を示したことなどから、高級ブランド銘柄が売られたほか、エネルギー関連株も下落した。米国では、市場予想を下回る業績見通しを発表した小売大手やネットワーク機器大手が売られ、ニューヨークダウ工業株30種は反落したが、他の2指数は小幅ながら続伸した。外国為替市場では円が反発し、対ドルで150円台、対ユーロで163円台となった。米長期金利の低下などを受け、金先物が買われた。なお、17日の日本では、10年国債利回りが一時0.715%と、9月以来の低い水準となったほか、株式相場は反発した。
			欧米

今週の主な注目点 (高:注目度大、中:注目度中、低:ご参考)

日付	注目度	国・地域	指標など(コメント)
21日(火)	高	米国	10月の中古住宅販売件数 9月は年率396万戸だった。10月は390万戸と見込まれている。
23日(木)	中	ユーロ圏	11月のPMI(購買担当者指数)速報 10月は、製造業で43.1、サービス業で47.8だった。11月の予想はそれぞれ、43.4、48.1となっている。同指数は50が好・不調の境目。
24日(金)	高	日本	10月の消費者物価指数(除く生鮮食品) 9月は前年同月比+2.8%だった。10月は+3.0%と予想されている。

上記のほか、米国では10月31日~11月1日のFOMC(連邦公開市場委員会)の議事要旨が21日に公表される。また、OPEC(石油輸出国機構)と非加盟産油国からなるOPECプラスの閣僚会合が26日に開催される。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。